

マスクギャザリングにおける新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の WHO リスクアセスメント、リスク軽減チェックリストの使い方

暫定ガイダンス

2020年3月20日版

原文（英語）：

[How to use WHO risk assessment and mitigation checklist for Mass Gatherings in the context of COVID-19](#)

Interim guidance
20 March 2020

<https://www.who.int/publications/i/item/how-to-use-who-risk-assessment-and-mitigation-checklist-for-mass-gatherings-in-the-context-of-covid-19>

背景

これは COVID-19 アウトブレイク発生中に会合を開催する主催者にガイダンスを提供する運用ツールであり、[WHO ウェブサイト](#)で入手可能な WHO COVID-19 Generic Risk Assessment Excel ファイルと共に運用すべきである。

マスクギャザリングの手順計画には疾患の蔓延についての総合リスクを決定するためのリスクアセスメントの実施が含まれる。本文書は開催国およびマスクギャザリングの主催者とスタッフが使用する COVID-19 のリスクアセスメントとリスク軽減チェックリストを提供する。具体的には、本文書では以下の項目についての概要を提供する：

- 会合に関して収集すべき情報
- COVID-19 リスクアセスメントツール
- COVID-19 軽減策チェックリスト

最終決定のためのリスクアセスメントとリスク軽減策スコアを組み込んだ意思決定マトリックス

使用の手引き

主催者は WHO が提供する日刊の[シチュエーション・レポート](#)（日報）や、入手可能であればその国の COVID-19 に関するナショナル・レポートも用いて、アウトブレイクについて最新の状況を把握すべきである。

COVID-19 リスクアセスメントとリスク軽減策チェックリストは、スコアが自動的に計算されるため[附属の WHO COVID-19 Generic risk assessment Excel ファイル](#)に記入する必要がある。得られたリスクスコアを意思決定マトリックスに照らすと総合リスクスコアと追加すべき対策に関する推奨事項を得ることができる。

COVID-19 のリスクアセスメントとリスク軽減チェックリストは、その地域の公衆衛生当局と共に実施されるべきであり、マスギャザリング、リスクアセスメント、疫学、および感染症対策の専門知識を備えた担当者を計画の初期段階から確保しなければならない。

総合的な決定をするために、検討に必要な要素は以下が含まれる：

- アウトブレイクの現在の段階と既知の伝播動態
- 地理的分布、参加者数、および参加者の個人的リスクプロフィール
- リスクアセスメントツール
- 現在実施されているまたは提案されているリスク軽減策

リスク軽減策は COVID-19 感染リスクを減らすことができる一方で、脅威を完全に排除することはできないということを知覚しておくことは重要である。本ガイダンスは、状況と疾患に関する知識が進化するにつれて変化する可能性がある。リスクアセスメントは、COVID-19 を管理するための各国の戦略に基づき行われるべきである。最後に、WHO は公衆衛生上のリスクについて開催国に助言と技術ガイダンスを提供するが、加盟国が主催するマスギャザリングを支持、延期、またはキャンセルする決定権は持たない。

会合についての情報収集

以下は、会合の主催者が収集する必要がある情報である。この情報は、リスク軽減チェックリストの質問に回答するために用いられる。

イベント名	
主催者/会合のスポンサー	
連絡窓口	
日付（開始 - 終了）	
開催都市と国	
予想される参加者数	
国際的な参加の有無	
開催国の現在の渡航制限	
開催国が現在実施している、イベントに影響を与える可能性のある健康に関する予防策（例：一定の人数を超える会合の禁止など）	
イベントの 14 日以内に COVID-19 アウトブレイク* の影響を受けた国または地域からの参加者数	
リスク（65 歳より上、既存の疾患がある、医療従事者、または他の対応者）があると考えられる参加者の割合（パーセンテージ）	
国家元首／政府首相／大臣または副大臣の関与（人数）	

メインのマスギャザリングイベントに加えてサイドイベントはあるか、また、各種イベント用に異なる会場があるか	
参加者間の濃厚接触を最小限に抑えるためにどのような対策が取られているか	
参加者と演者両方のリモート出席に関して具体的にどのような対策が講じられているか	
簡潔に、会合を延期した場合に大きく影響するとみられる要素（財政上、運営上、評判など）は何か	
リスクアセスメントに影響を与える可能性がある、会合についてのその他の妥当な情報は何か	

* 国名一覧については WHO の COVID-19 に関する日報 ([シチュエーション・レポート](#)) を参照のこと。

COVID-19 リスクアセスメントツール

[附属の WHO COVID-19 Generic Risk Assessment Excel ファイル](#) を使用してリスクアセスメントを行うことができる。リスクアセスメントツールを使用により、主催者はイベントを主催するための重要な検討事項を確認し、イベントにおける COVID-19 のリスクアセスメントの結果について周知することが可能となる。主催者が COVID-19 のさらなるリスクについて理解し、管理するのに役立つ。

このリスクアセスメントは、特に急速に進展するアウトブレイクを考慮して、更新された [WHO ガイダンスとシチュエーション・レポート](#) を参照しながら、計画段階で定期的に見直しを行い、運用段階に移行する前に直ちに更新すべきである。イベントのための COVID-19 リスクアセスメントは、開催国の国レベルでの COVID-19 リスクアセスメントと調整および統合する必要があり、地域の公衆衛生当局の情報も取り入れ、WHO の最新の技術ガイダンスを参照し、疫学的状況に関する最新の評価を確実にする。

このリスクアセスメントで考慮される質問には、以下が含まれる：

- イベントは、進行中の地域内伝播（地域での蔓延）が記録された開催国で開催されるか？
- イベントには進行中の地域内伝播（地域での蔓延）が記録された国からの国際的な参加者が含まれるか？
- イベントには、重症化するリスクが高い参加者（例：65 歳を超える人、基礎疾患を持つ人）が多く含まれるか？

COVID-19 リスク軽減チェックリスト

リスク軽減策は、そのイベントが COVID-19 ウイルスの伝染を促進するリスクを軽減することを目的としている。リスク軽減策はリスクアセスメントスコアと共に意思決定マトリックスに貢献し、伝染および COVID-19 の更なる蔓延に関する総合リスクの評価、およびマスギャザリングを開催するかどうかについての推奨事項に影響を与える。

リスク軽減策には、以下のような種々の課題が含まれる：

- イベント主催者による現在の COVID-19 の状況の概要についての理解

- イベントの緊急事態のための準備と対応計画
- ステークホルダーおよびパートナーとの調整
- 指揮統制
- リスクコミュニケーション
- イベント前とイベント中の COVID-19 についての衛生概念
- サージキャパシティー（急な需要増への対応能力）

[附属の WHO COVID-19 Generic Risk Assessment Excel ファイル](#)を使用して、リスク軽減策チェックリストを実施する。

最終判定のための意志決定マトリックス

意思決定マトリックスは、リスクスコアとリスク軽減スコアを組み合わせることで色の決定を提供し、これにより、感染と COVID-19 の更なる蔓延についての総合リスクが識別され、イベントを開催すべきかどうか、および追加で行うべきリスク軽減策について推奨事項が提案される。意思決定マトリックスの下の色決定表は、各色の表す総リスクとリスク軽減について推奨事項が提案されているかどうかを示す。

リスク軽減スコア計 (%)				
リスクスコア計	76-100	51-75	26-50	0-25
0	極めて低い	極めて低い	極めて低い	低い
1	極めて低い	低い	低い	中等度
2	低い	低い	中等度	中等度
3	中等度	中等度	高い	高い
4	高い	高い	極めて高い	極めて高い
5	極めて高い	極めて高い	極めて高い	極めて高い

判定

判定	
極めて低い	COVID-19の伝播や拡大の総合リスクは <u>極めて低い</u> と考えられる
低い	COVID-19の伝播や拡大の総合リスクは <u>低い</u> と考えられる
中等度	COVID-19の伝播や拡大の総合リスクは <u>中等度</u> と考えられる
高い	COVID-19の伝播や拡大の総合リスクは <u>高い</u> と考えられる
極めて高い	COVID-19の伝播や拡大の総合リスクは <u>極めて高い</u> と考えられる

謝辞

このガイドンスの作成にあたり、WHO MG COVID-19 ad-hoc expert group の貢献、ならびに、ジョンズホプキンス大学、および、フリンダース大学の WHO コラボレーティングセンターからの支援に対し謝意を表す。

WHO は、この暫定ガイドンスに影響を与える可能性があるあらゆる変化に対し、状況の監視を注意深く継続する。変化が生じた場合、WHO は更新版を発表する。そうでない場合、この暫定ガイドンスは発行日から 2 年をもって失効とする。

© World Health Organization 2020. Some rights reserved. This work is available under the [CC BY-NC-SA 3.0 IGO](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/) licence.

WHO reference number: [WHO/2019-nCoV/POE mass_gathering_tool/2020.1](https://www.who.int/publications/i/item/WHO/2019-nCoV/POE_mass_gathering_tool/2020.1)